目次　Contents

3　新型コロナウイルス感染症のワクチン接種
4　まちの話題
6　保健便り
8　障がい福祉瓦版
9　地域おこし協力隊通信
10　いちご一会とちぎ国体
11　レッツスポーツ
12　新・下野市風土記
13　生涯楽習だより
14　環境トピックス
15　国民年金だより
16　図書館だより
18　くらしの情報
30　7月のカレンダー
31　キプロス通信
32　イベントカレンダー

※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクをはずしています。

今月の表紙　パラスポーツ「ボッチャ」を体験

今月の表紙は、5月29日に開催したパラスポーツ「ボッチャ」体験会の様子です。包括連携に関する協定を締結している、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の協力を得て実施しました。

ボッチャは、ヨーロッパで、重度脳性麻痺者や同程度の四肢障がい者のために考案されたスポーツです。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うもので、「地上のカーリング」とも呼ばれます。

体験中はボールの行方に一喜一憂し、良いプレーが出ると、自然と拍手が起こりました。参加者からは「楽しかった」、「ねらい通りに投げられなくて難しい」、「子どもたちや地域の方と一緒に楽しめた」といった感想をいただきました。

今月の何の日　7月12日　マララ・デー

この日は、武装勢力に命を狙われてなお、すべての子どもに教育の機会を与えるよう訴え続けるマララ・ユスフザイさんの誕生日です。彼女の勇気を称え、国連が定めました。すべての女性と少年少女の権利のための日とされています。

2009年、マララさんが生まれ育った地域は武装勢力によって支配され、特に教育を受けようとする女性や、女性の教育の権利を推進しようとする者は、命を狙われるような状況でした。

そんな中、当時11歳のマララさんは、英国BBC放送の依頼を受け、ペンネームでブログに記事を投稿し始めます。アンネ・フランクを彷彿とさせるこのブログで、武装勢力の支配下での緊迫した日々を伝えたマララさんは、世界中のメディアの注目を集めるようになっていきました。

その後、本名を明かしたうえで精力的に女性の教育の権利を訴え続けたマララさんは、武装勢力に銃撃され、瀕死の重傷を負いました。

奇跡的に一命を取り止め、2013年7月12日に16歳の誕生日を迎えた彼女は、国連で「銃弾が私たちを黙らせることはできません」「ひとりの子ども、ひとりの教師、1冊の本、1本のペンが、世界を変えることができます。教育こそが唯一の解決策なのです」と力強く語り、2014年には、史上最年少の17歳でノーベル平和賞を受賞しました。

マララさんのように命を賭けることは難しくとも、より良い世界を目指すために自分にできることとは何なのか、考えてみたくなる記念日です。

■人口と世帯（6月1日現在）

人口／60,215人（+14）、男性／29,950人（+21）、女性／30,265人（−7）、世帯数／24,952世帯（+27）

下野市公式ツイッター

市ではホームページの新着情報や、災害発生時の避難場所などの情報配信を行います。右の二次元コードからアクセスできます。

下野市公式アカウント　@city_shimotsuke